



02 | 特集

第4回「グローブシップ株式会社お取引先セミナー」



- 08 | 支店へようこそ! (大阪支店)
- **10** | グローブシップ ナウ!
- 12 日本史の中のスーパーフード





代表取締役社長 矢口敏和

国内初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから約11カ月が経過しました。弊社では、感染者が出た直後の1月末に緊急対策委員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会を立ち上げ、「新安員会の対応手順」等を表した。

ı

私どもは社員の感染 防止に最大限の注意を 払いつつ、お取引様の 施設へのサービス水準 を維持していくと共に、

施設における感染防止に役立つサービスも積極的に提案していきたいと思います。そのためには、従来の清掃・設備・警備というサービスの枠組みに留まらず、「安心安全に働ける施設の環境づくりのために感染防止や衛生、消毒を意識したサービスのパッケージメニュー」を開発いたします。

正にこのWithコロナ、Afterコロナの時代の今こそ私共の真価が問われていると自覚しています。今後とも、皆様のお役に立てるパートナーとなるべく全社一丸となって努力してまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

内田 賢氏講演

新型コロナウイルス感染症 一今日そして明日—

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会の在り方や個人の行動が大きな変容を遂げています。そこで第4回目となる「グローブシップ株式会社お取引先セミナー」をWEBサイトにて動画配信させていただきました。今回の特集では、一般財団法人明治安田健康開発財団明治安田新宿健診センター所長の内田賢氏にお話しいただいた、感染症の現状と今後の見通しについてご紹介します。

社会と個人の双方に求められる感染症対策

新型コロナウイルスのパンデミックで多くの命が失われ、私たちがいかに脆いものかを改めて思い知らされることになりました。

これまでのところ、感染者の 80%が軽症にとどまり、14%が 重症化。6%が急性呼吸窮迫症候



内田賢 (うちだ・けん) 氏東京慈恵会医科大学客員教授、明治安田新宿健診センター所長、一般財団法人明治安田健康開発財団理事。1973年東京慈恵会医科大学卒業、2006年から2012年3月、東京慈恵会医科大学外科教授を務め、退任後、同年4月より明治安田新宿健診センター所長に就任。現在は「信頼と安心の健診」をモットーに同センターで年間1万8000人の健診業務にあたっている。特に女性健診に力を入れている。

群や多臓器不全など重篤な症状に陥っています。死亡率は50歳以下0.5%、60歳代5.5%、70歳代17%、80歳代30.2%というように年齢とともに上昇。糖尿病、心臓病、呼吸器疾患、高血圧などが、死亡率を高める主なリスク因子です。

感染者の死因の大半はウイルス性肺炎で、ほかに免疫や炎症を調整するサイトカインが過剰に分泌されて正常な組織が損なわれるサイトカインストームも見られます。この感染症に対抗するには、徹底的な検査と感染者の隔離を実施し、医療体制を整備しなければなりません。それに加えて、ソーシャルディスタンシングの確保、マスクの着用、手洗いの励行などを、一人ひとりがしっかりと行うことも非常に重要です。

インフルエンザとの 同時流行に注意を

国内における2020年10月7

図1:新型コロナウィルスとインフルエンザ 感染者数・死亡者数の比較

		感染者数	死亡者数
新型 コロナウィルス	2020年 (10/7現在)	8万2,131人	1,548人
季節性 インフルエンザ	2018年	1,000~ 1,200万人	3,325人

図2:新型コロナウィルス後の社会

パンデミック回復には、2年以上の長い 時間がかかる。U字でもV字でもなく 型の回復になる。

表:新型コロナウィルスの今後 COVID-19に対するワクチン開発状況

2020年9月30日現在

開発元	国	種類	開発状況	
モデルナ	米国	mRNA	P3試験	
カンシノ・バイオロジクス	中国	ベクター	P3試験	
アストラゼネカ/ オックスフォード大学	英国	ベクター	P3試験	
ファイザー	米国	mRNA	P3試験	
国立ガマレア研究所	ロシア	ベクター	承認 (2020.8.11)	
大阪大学/アンジェス	日本	DNA	P1/2試験	
シオノギ製薬	日本	タンパク ワクチン	前臨床	

日までの新型コロナウイルス感染者は8万2,131人で、死亡者は1,548人。一方、季節性インフルエンザの感染者は1,000万~1,200万人、死亡者は3,325人(2018年データ)です(図1)。比較すると新型コロナウイルスの感染者は圧倒的に少ないものの、季節性インフルエンザと違いワクチンや治療薬がまだ存在しないことに留意しなければなりません。

新型コロナ流行の第3波は、いずれやってくるはずです。12月頃にはインフルエンザと同時に感染が広がる可能性もありますので、早めにインフルエンザワクチンを接種することをお勧めします。

ちなみに新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスにはアルコール消毒が有効ですが、風邪を引き起こすライノウイルスやアデノウイルスには無効です。それらのウイルスには石鹸での手洗いが有効であるということを、ぜひ覚えておいてください。

パンデミックの収束には 一定の時間がかかる

新型コロナウイルスに有効なワクチンは、米・中・英・口などで開発が進められています(表)。一部の薬はフェイズ3の試験段階に入っていますが、安全性や有効性はまだ不確かですし、抗体価が3カ月程度しか持続しないのではないかとの懸念もあります。抗体保有率が低く、有効なワクチンもないことから、感染は2021年以降も継続すると予想されます。

従って職場ではこれまでと同じように、基本的な感染症対策の実践と、感染懸念時の報告ルール順守、そして各人が自覚と責任を持って行動することが求められます。

過去の例から見て、パンデミックからの回復には2年以上の長い時間を要します(図2)。新型コロナウイルス禍を生き延びるために重要なのはなんと言っても「健康」です。これまでと変わらずに皆さんが健診をきちんと受け、健康管理に努められることが望まれます。



※動画は2020年11月16日~30日の期間に限定し配信いたしました。

米澤裕子氏講演

職場における感染症予防対策

内田賢氏に続き、一般財団法人 明治安田健康開発財団 明治安田新宿 健診センター 保健師の米澤裕子氏が登壇。職場の管理者や従業員が、 どのような意識を持って新型コロナウイルスに対処するべきかをお話 しいただくとともに、オフィスで講じるべき具体的な感染予防対策に ついてごお話しいただきました。

管理者にも従業員にも 求められる自覚的行動

新型コロナウイルスへの感染は、 飛沫による感染と接触による感染 に大別されます。飛沫感染は、感 染者のくしゃみや咳、唾などの飛 沫とともに一緒にウイルスが放出 され、別の人がそのウイルスを口 や鼻から吸い込むことで引き起こ



米澤裕子(よねざわ・ゆうこ)氏 一般財団法人明治安田健康開発財団保健 指導グループリーダー。2003年、東京慈惠 会医科大学医学部看護学科を卒業後、東京 慈恵会医科大学附属病院本院ICUに勤務。 2014年に退職後、一般財団法人明治安田 健康開発財団の明治安田新宿健診センター に入職。現在看護業務と産業保健師として、 病気の予防・職場の健康維持に努める。

されます。もう一方の接触感染は、 感染者が触れたものを介して別の 人の手にウイルスがつき、その手 で口や鼻などに触れることで起こ ります。いずれも、密閉(換気の 悪い密閉空間である)、密集(多 くの人が密集している)、密接(互 いに手を伸ばしたら届く距離での 会話や共同行為が行われる)のい わゆる"3密"が、感染リスクを高 めると考えられています。

会社の管理者は、職場における 感染症対策を常に念頭に置く必要 があります。従業員自身は出勤前 に必ず検温をし、発熱がなくても 体調不良時には出勤を控えなけれ ばなりません。公益社団法人 日 本産業衛生学会の「職域のための 新型コロナウイルス感染症対策ガ イド | では、発熱や風邪症状があ る人の職場復帰の目安を、「発症 後少なくとも8日が経過してい る」、「薬剤を服用していない状態 で、解熱後及び症状消失後に少な くとも3日が経過している」の2

つの条件の両方を満たすこととし ています(図1)。判断に迷う場合 は、受診した医療機関の指示に従 うようにしましょう。

オフィスで実践すべき 基本的な感染症対策

オフィスでは、従業員同士の間 隔を2m程度は開けるソーシャ ルディスタンシングを工夫しまし ょう。仕切りのない対面の座席配 置は避け、対角や横並びに配置す ることが必要です。対面にせざる を得ない場合は、パーテーション を設置して飛沫感染を防ぎます。

職場内の消毒も欠かせません。 出社したらまず自分のデスク回り と文具類を消毒。多数の人が触れ るドアノブ、手すり、電気スイッ チ、コピー機などは当番を決めて 定期的に消毒し、会議や打ち合わ せ等で使用した場所は、使った人 自身が消毒をする決まりにすると 良いでしょう。タブレット型のパ ソコンやスマホには何度となく触

れるので、これらの機器もこまめ に消毒することが必要です。

勤務中の従業員が勤務中に常に 行うべき基本的な感染防止対策は、 マスク着用と定期的な手洗いです。 マスクは鼻と口をしっかり覆うよ うにし、マスクを口の下にずらす "あごマスク"は避けるようにし てください。感染防止効果がなく なるだけではなく、あごについた 細菌を自分の口元につけることに なり、とても不衛生です。

手洗いや消毒は 正しい方法で

手洗いは、手に付着したウイル スを確実に減らすことができる手 段です。洗い残しの多い指と指の 間や爪、手首もしっかり洗うよう に気をつけてください。石鹸は泡 タイプが望ましく、液体や固形を 使う場合は事前によく泡立ててか ら使うようにしましょう。

手洗いができない状況では、ア ルコール消毒が有効です。消毒剤 にはスプレータイプとジェルタイ プがあり、消毒効果に差はありま せん。いずれも量が少ないとすぐ に乾いてしまうので、1回の消毒 に2cc以上は取り、アルコール が乾くまでに十分に時間を得られ るようにします。職場では建物や 部屋の入り口、タイムカードを押 す場所など、動線に消毒剤を配置 し、適宜消毒することを習慣化す ることが大切です(図2)。

ほかに、窓やドアの開放、サー キュレーターの使用などによる換

図1:発熱や風邪症状を認める者の職場復帰の目安

- ●発熱などの症状により自宅で療養することになった従業員は毎日、健康状態 を確認したうえで、症状がなくなった段階で下記の基準に従って出社の判断
- ●職場復帰の目安は、次の①及び②の両方の条件を満たすこと
- ①発症後少なくとも8日が経過している
- ②薬剤*1を服用していない状態で、解熱後及び症状*2消失後に少なくとも3 日が経過している
- ※1解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤 ※2咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など 出所:職域のための 新型コロナウイルス感染症対策ガイド
- https://www.sanei.or.jp/images/contents/416/COVID-19guide0511koukai.pdf

図2:職場内の消毒

共有部分に関しては、担当を決めて、就業前・就業終了前に消毒作業を実施



気を行うことも不可欠です。また、 飲食時にはマスクを外すため、感 染リスクが高まります。飲食を伴 う休憩スペースについては、時間 をずらしての利用や常時換気など で、3密を防止しましょう。

多くの職場で、平素の業務に感 染症対策関連作業が加わり、従業 員が疲弊しています。管理者はそ うしたことにも配慮しながら、正 しい知識をもって、適切な対策を 実践するように心がけてください。



GS way vol.10 November 2020 5

常務取締役 瀬本陽一郎講演

Withコロナに向けた ワークプレイス環境の構築

感染症の拡大を防ぐには、オフィスにおける除菌・抗菌対策も不可欠です。 グローブシップでは、AI清掃ロボットなど最新の技術を活用してワークプレイスのダストコントロールや抗菌対策を行うことを新たな業務ミッションに定めています。常務取締役の瀬本陽一郎からは、今後のクリーニングメンテナンスサービスの方向性についてお話をさせていただきました。

除菌・抗菌も含めた 包括的なサービスを提供

新型コロナウイルス感染症の拡大は、労働環境の安全・安心・清潔に対するニーズを飛躍的に増大させました。"Withコロナ時代"においては、ワークプレイスの感染リスクを低減させることが、生産性の維持・向上に直結するからです。

米国疾病予防管理センター (CDC) が中国の病院施設内のウイルスの残存量を調べたところ、医療従事者の手袋や患者のマスクの10~30倍ものウイルスが床面に付着していたことが明らかになりました。医療スタッフの靴底



常務取締役 瀬本陽一郎



や空調フィルタについたウイルス も多いため、床に堆積したウイル スが靴底についたり舞い上がった りして、空間全体を汚染すること が推測されます。この調査結果は、 日常的な床面清掃による除塵、空 気中の埃の除去、人が触れる機会 の多いデスクやドアノブなどの除 菌・抗菌・消毒が、清潔なワーク プレイスを維持するためにいかに 重要であるかを物語っています。

こうした状況に対応するため、 当社はワークプレイスのダストコントロールや抗菌対応をしっかり 行うとともに、清掃効果や清潔度を定量的に可視化する、包括的なクリーニングメンテナンスサービ スをご提供することを新たな業務 ミッションに定めました(図1)。 2020年4月には、各種ロボット をはじめとする新技術の導入を促進し、感染対策を含めた次世代 FMオペレーションを構築・展開するため、「ロボットファシリティマネジメント開発部」を社内に設置。最新のファシリティマネジメント技術を社内外で推進しております。

最先端技術の活用で 安心・安全な環境を構築

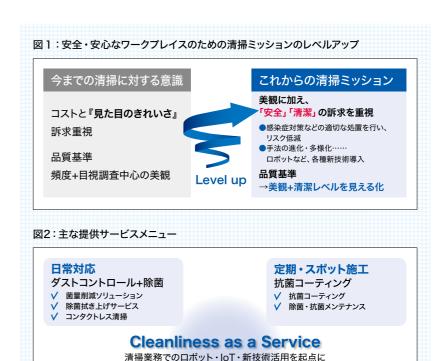
当社は2019年度よりソフト バンクロボティクス株式会社と連 携し、業務用ロボット掃除機 「Whiz」を随時配備しています (Whizは国内外に約1万台流通 の実績を有しています)。このロボットは人の手では取り残してしまう隠れダストも集塵し、排気口に装備されたHEPAフィルタ (クリーンルームにも用いられる高性能フィルタ)が、舞い上がったホコリ・有害物質などを含む空間浮遊粒子の多くを効果的に除去。「Whiz」を用いた清掃では、人手による清掃と比べて空間浮遊菌の量が最大5分の1程度に削減されるという効果が実証されています。

抗菌サービスでは、コニカミノルタジャパン株式会社と協力し、酸化チタン、銀、プラチナの触媒反応を組み合わせた新技術によって抗ウイルスコーティングをする「デルフィーノ」を用意。ワークプレイス全体に3次元施工することで、ウイルスの不活性化を促します。「Whiz」と「デルフィーノ」による除塵と抗菌をパッケージにすることで、より大きな感染防止効果が得られるものと考えます。

さらに当社では、新しく株式会社IngDan Japanと協力し「スマート検温サービス」を開始いたしました(左ページ写真)。

画像認識による自動検温ができる非接触型の「検温スタンド」をオフィスエントランスに設置することで、体温測定をスピーディに行い入館できますので、1カ所に多くの人が滞留することによる感染リスクを低減できます。

目に見えないワークプレイスの



新たな付加価値を持つクリンリネスサービスを展開

清潔度の可視化については、各種 検査機器を駆使して空間の浮遊粒 子や、床・立面の汚染度などを数 値化。診断結果を継続的にご報告 できるようにするための準備を進 めている段階です。また、今後は 除菌・消毒機器(紫外線照射等) のレンタルなど、感染症対策のオ

清潔度の見える化

✓ ワークプレイス清潔度測定

新しい品質基準

プションも拡充していくことにな るでしょう(図2)。

感染対策オプション

✓ 感染管理用機器(体温計など)

✓ 除菌・消毒機器(紫外線照射など)

機器販売・レンタル

こうしたサービスを包括的にご 提供することを通じて、当社はお 客様が安心してワークプレイスを お使いになれる環境の整備に注力 してまいります。



新たな挑戦!西日本の中核拠点 大阪から全国に情報発信を





大阪支店 支店長 長尾 聡

グローブシップの強みは全国のネットワークと多様 なグループ体制です。お客様のさまざまなご要望に お応えできるよう日々精進していきたいと思います。

"商都・大阪"で 多彩なニーズにお応えする

「商業の町、大阪」に拠点を構えるグローブシップ(株)大阪支店。その草分けは、旧ビル代行が大阪営業所として立ち上げた1974年に遡ります。その後、旧日本ビルサービスが1983年に大阪ビル総合管理(株)として営業を開始し、それぞれの事業で実績を残してきました。両者はどちらも1996

年に現在の大阪支店の所在地(大阪市北区)である「OAP(大阪アメニティパーク)タワー」に移転。同じフロアに拠点を構えていたこともあり、2つの組織は2015年にグローブシップ大阪支店として新しくスタートをしてからの業務遂行もスムーズでした。

現在、支店社員40名を含む従 業員約300名が所属しておりま す。営業テリトリーは、近畿圏内 全域をはじめ四国(香川・徳島)、 さらに鳥取(一部)まで広域に及 びます。

新たな変貌を迎える大阪 好機と捉え、躍進目指す

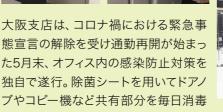
同支店が管理している施設には、 一般ビルの他、商業施設・金融機 関・工場関連・学校・指定管理物 件(文化・スポーツ施設)、マンションなどがあり、多岐に渡っています。この業種業態の異なるお客様に対して、ビル設備管理をはじめ、清掃、警備、各種工事、マンション管理などのサービスをお届けしています。

特に大阪はビジネス集積地でもあり、オフィスの空室率は低水準で推移してきました。ところが最近になって、新型コロナウイルスの影響で空室率が上昇しつつあります。この背景を踏まえながらも、長尾支店長は「2022年以降には、梅田・淀屋橋界隈を中心に新築ビルの竣工など大型開発が計画されています。また、2025年には『日本国際博覧会(大阪万博)』の開催も予定されており、ますます魅力ある大阪になっていくものと思い

職場での衛生意識を高める







し、打ち合わせスペースにはパーテーションを取り付けました。「今では当たり前になりましたが、他に先がけてまず自分たちでできることに取り組みました」と長尾支店長は振り返ります。



■業務1課 村山智一(写真左) 大阪支店勤務となり1年半。 まだまだ勉強の日々ですが、経験を力に変え、

力を提案に活かせるよう、邁進して行きます!

日々

全力投球!

■業務3課 中嶋健人(写真右)

動続4年目で、大阪支店の中でも一番年齢の若い20代です。経験ではまだまだ先輩方にはかないませんが、若さと持ち前の明るさで多くの業務にチャレンジし、成長出来るように頑張っています。

ます」と、むしろ好機と捉え、期 待を寄せています。

ニューノーマルの時代社会の変容に適合する

新型コロナウイルスの感染拡大 による影響は、同支店でも例外な く一部業務で出ていましたが、今 は平常に戻りつつあります。

しかし、コロナが収束したとしてもコロナ前には戻らないという社会の変化(ニューノーマル)に対応できるよう、適応能力を高める必要があります。

「テナント様からは、『感染症等 のリスクを避けたい』『今まで以 上に快適性を求めたい』といった ご要望がこれから出てくると思います。Withコロナ、Afterコロナへの取り組みの機運も高まっており、快適性をキーワードにしたサービスを提案する必要があります」と長尾支店長は語ります。

また、コロナ禍で改めて気づいたことの1つには、各専門分野に強みを持った仲間たちが協力、連携し合い"総合力"として発揮できていることがあります。これが支店運営の強みであり、原動力となっています。

「大阪支店は、西日本の中核を 担っています。また広域で営業な さっているお客様も多い。今後は、 大阪から全国に情報発信し、GS グループ全体に波及効果を高める ようになりたいと思っています」 (長尾支店長)。

支店としてあるべき姿を達成するには、「お客様のご要望をよくお聞きすること」と「新しい業務にチャレンジすること」。その第一歩として、今年は新たに「宅地建物取引業者」の登録を実施。今後もさまざまなお客様のニーズにお応えできるよう、サービスの仕組みや態勢を整えてまいります。

支店情報

グローブシップ株式会社 大阪支店

■所在地:大阪府大阪市北区天満橋 1-8-30 OAPタワー

■従業員:約300名(9月末現在)

■管理物件数:400件

GS way vol.10 November 2020 9

グロースシップナウ!

お取引先様から感謝状をいただく

管理ビルでの試験協力が評価される

8月28日、三菱地所株式会社が推進される新し いビル管理手法に関して、当社の協力が評価され会 社として、感謝状をいただきました。

今回特にご評価いただいたのは、AI清掃ロボッ ト「Whiz」の導入や、人とロボットの組み合わせに よる新たな仕組みを取り入れ、お客様の管理ビルに て試験協力を行った点です。今後も引き続き、お客 様のニーズに最適のお役立ちができるよう努めてま いります。



お取引先様のために万全のサポートをさせていただきます。

千葉工業大学との共同開発

産学共同開発、期間満了

2018年7月~2020年2月まで、当社は千葉工業 大学(千葉県習志野市)と階段清掃を自動で行うロボ ットの共同研究を行いました。期間を通して階段を 昇降する方法の検討及び、清掃機能を搭載して清掃 方法の検討を行い、計3種の試作機を製作しました。

研究を担当した未来ロボティクス学科の学生たち が卒業するまでの限りある時間の中で、独自の発想 によるさまざまなロボットが登場。基礎研究として 挑戦する事の重要性と、ロボットの抱える課題や有 用性を再度確認できる取り組みとなりました。

たのの れ活各 ま発良



テクノロジー部会長で担当役員を務める東条正明 からは、「期間中毎月のように出向き、議論させて いただきました。私たちも多くの良い刺激をもらい、 楽しく有意義な時間でした。米田完教授と学生さん には深く感謝申し上げます」との言葉を寄せ、共同 研究を振り返りました。

、新入社員フォローアップ研修

現場でお役に立てるように

今年度入社の新入社員23名を対象に、フォロー アップ研修を7月20~22日の3日間行いました。 初日には警備業務の研修、2日目にOJT研修で

の職種の清掃・設備に分かれて専門研修を受けまし た。3日目は0JT研修の体験談発表やグループワ 一クのほか、新型コロナウイルスの影響で延期にな った入社式の代わりに社長の矢口が辞令を交付。そ の後訓示を行いました。

矢口からは、①小さなことを大切にする ②コミ ュニケーションを取って、良い人間関係を作る ③ 働く意味を理解する、という3つの心構えを伝えら れました。また、「歴史の転換点になる年に入社し た皆さんには、変化に立ち向かい挑戦する覚悟を持 って欲しい」と新入社員への期待を語り、3日間に わたる研修が終了しました。

研修を終えた新 入社員は、現場 で日々努力を重 ねています。



行動指針の実践を通じて現場力を向上

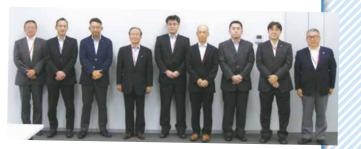
GS WAYの優良出張所を表彰

グローブシップグループには、全社員が業務を遂 行するうえで順守すべき「GS WAY (グローブシ ップウェイ)」があります。2017年の策定以来一人 ひとりが取り組んできた「GS WAY」の具現化と 浸透の度合いを評価するべく、第4回「GS WAY コンテスト」を6月に開催する予定でした。

しかし今年は新型コロナウイルスの影響で開催を 断念。代わりに、優良出張所の独自の取り組みを紹 介し、会社全体の「GS WAY」レベルの底上げを 図ることにしました。

今回は22の出張所から、取り組み実績や具体的 な活動のヒアリングなどを通して [他の出張所の参 考になる取り組みをしている」と判断された11出 張所を選出。厳正なる審査の結果、金賞には「太陽 生命日本橋出張所」が輝きました。続く銀賞は「渋 谷クロスタワー出張所」、銅賞は「学校法人 廣池学 園出張所」が受賞、社長の矢口より表彰状が授与さ れました。

「太陽生命日本橋出張所」は、防災センターの機



能を最大限活かすために、管理会社・警備担当・ 設備担当の緊急時対応力の向上と連携強化を図る 合同訓練を実施している点が評価されました。こ の取り組みは一度の訓練で終わるのではなく、継 続して行うことで意識づけをしています。

矢口は「『GS WAY』を通して、仲間との協調、 仕事への手ごたえ、役割、協調性を感じることで、 仕事に対する意欲、規律、秩序ある職場を実現し、 『当社従業員が生き生きと働ける職場環境』や『働き 甲斐のある職場』を実現していきましょう」と語り ました。本内容を会社全体で共有することで、今 まで以上の現場力の向上を推進してまいります。

災害リスクに備えて

全社でのBCP訓練を実施

10月25日、本社及び全国11支店を対象として 設備管理を行っている出張所41現場、約200名が 参加してBCP訓練を実施しました。この訓練で は、出張所内で一部被災したという想定のもと、 いざという時に落ち着いて行動ができるようにす ることを目的にしています。具体的には、自宅な いし最寄駅から出張所までの約10kmを徒歩で出勤 して安全な道順等を確認すると共に、設備点検を チェックリスト等に従って行いました。

また、あらかじめ共有した「出張所責任者と協力 し被災状況の取りまとめ」や「客先へ被災状況の報





告(模擬訓練)|「『被災状況報告書』に基づき、点検 箇所を分担、被災状況の確認」などを行いました。

参加者からは「実地訓練を通じて普段の通勤で気 がつかなかった危険に気がつけた」「いざというと きの対応の訓練ができたのは有意義だった」という 声も寄せられました。今後も、グローブシップで は災害への備えを万全にしてまいります。

編集後記―― 2020年11月5日、亜細亜大学経営学部の「トップマネジメント特別講義」に弊社社長の矢口が登壇し、 同学部3年生の約400名に向けて「快適環境創造のリーディングカンパニーを目指して」というタイトルで講義をしまし た。70分、弊社の事業展開やM&Aの話、社長矢口のキャリア、ウィズコロナ・アフターコロナにおける弊社のサービス内 容などについてお話し、最後に「社会に出ると、仕事の知識や資格や技術は大事だが、それ以上に大切なのは、それをど う使うかである。『社会や人の為に役立つ人間になりたい』『人に喜んでもらえる人間になりたい』という高い志に心をセ ットしてほしい」と結ばれました。コロナ禍のため、ZOOMでの登壇でしたが、大勢の学生が熱心に授業に臨みました。 また講義後は質疑応答も活発に行われ、社長の信念や思いが十分に伝わったと思います。 (管理本部長 佐藤武男)

GS way10号 2020年11月20日発行 発行:グローブシップ株式会社 総務部 東京都港区芝4-11-3 芝フロントビル TEL 03-6362-9701

※本誌記事・写真の無断転載・転用・複写複製 (コピー) を禁じます。

GS way vol.10 November 2020 11

「人生100年」時代、アクティブ・ハンドレッドを目指そう!

共の十 尾張浜主 114歳の長寿食は「醬」

永山久夫 食文化史研究家



◆日本人がコロナに強い理由

日本人は、世界でもトップクラスの長寿民族で、100歳以上の方も8万人を超えた。長生きできるということは、ウイルスなどの感染症に対する免疫力が強いということである。

現在、コロナ禍で世界中がパニックになっている

が、日本人の感染者、死亡 者数ともに国際的に見る と極めて少ない。強い免疫 力を身につけているから ともいわれ、それを可能に したのは古くからの食習 慣であり、その知恵は今で も継続されている。

民族の知恵の1つが、味噌、醤油、納豆などの発酵食品。特に注目されるのが味噌で、原料が大豆だから免疫細胞を強化するアミノ酸が多く、乳酸菌やこうじ菌、酵母などが活性化した状態で腸に運び込まれる。それらの善玉菌は腸内環境を整えて、免疫力を強

くし、ウイルスなどから日本人の健康を守り、今でもガードしている。

◆114歳で「長寿楽」を舞う

平安時代の貴族や官人たちの食膳に必ずのっていたのが「醤と「酢」で、味つけと疫病除けを兼ねた調味料として用いられ、味噌のルーツである。

平安時代初期に尾張浜主という音楽を奏でたり、

舞ったりする下級の官人がいた。浜主は正史にものっている人物で、記録によると、平安初期に平安京大極殿の舞台で「和風長寿楽」を舞っている。見学者は1000人を超え、翌年も再び宮中で舞ったが、時の天皇は浜主を気づかわれて、官位を高位にしたと伝えられている。

この時点で浜主は114歳で、その後も活躍しており、さらに長生きしていたのは間違いない。当時の官人の主食は玄米めしで、これに醤と酢、それに焼き魚や大根、里いもなどの煮物、醤で味つけした野菜の汁物がつく。汁物は後世の味噌汁である。

玄米は一晩水につけて から炊くので、米は発芽玄 米となっており、消化が良 くなり、ギャバという心を なごやかにする成分が増 えている。

野菜の食物繊維と醤に 含まれている乳酸菌など

が腸を整え、免疫力を強化していた。当時、何回もウイルスによる感染症が流行していたが、浜主は負けなかった。醤をしっかりとって腸に元気を送り続けていたからである。



永山久夫 食文化史研究家 1932年生まれ。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者。長寿食や健脳食の研究者でもあり、長寿村の食生活を長年にわたり調査している。『「和の食」全史』ほか著書多数。